

ネパール語におけるジェンダー言葉

ネパールでは一般的に女性の地位は低く、そのため女性は生産資源を利用することも、コントロールすることも出来ない。また、意思決定をする力がないため、女性にはあらゆる面で権限がない。その結果、社会的・政治的な地位がますます低下し差別を受けるという悪循環に陥るのだ。

ネパール語の使用方法を見ても、女性に対する差別を見て取ることができる。家父長制社会のネパールでは、女性は男性に従属するものと考えられているため、女性に対する表現、言葉、ジェスチャーなどに女性への尊敬の念が込められていることはほとんどない。女性は年齢に関係なく通常 *Bahini* と呼ばれる一方で、男性に対しては常に英語の敬称である *Sir* が使われる。家庭生活では、妻は夫に対して通常、尊敬の意味を込めて *Hajur* を使うが、夫が妻を呼ぶとき *Hajur* ということはありません。妻を呼ぶときは、たいてい目下に対する呼称である *Ta* を使用する。

また、「夫」を意味する接尾辞の *Pati* を国家を意味する *Rastra* につけた *Rastrapati* という単語は、ネパール語で「大統領」を意味するが、これに対して、男性名詞でも女性名詞でもないものに改めるべきだという議論が起こっている。更に、昔のことわざや歌の中にも男性優位や女性差別がみられることもある。